



おにはーそとーおー
ふくはーうちー

◎もくじ (2013年2月号)

- | | | |
|------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|
| 2 芦北町成人式 | 10 各種障害者手当 / カンボジア研修員帰国 | 14 お知らせ |
| 4 佐敷小チャリティーバザー
/ 澤田平さん講演会 | 11 津波警報変更 / 図書紹介 | 16 警察署 / 消防署 |
| 5 魚の朝市初売り
/ 「赤松館」で百人一首 | 12 保健センターだより
/ 障害福祉サービス対象者拡大 | 17 書道・短歌 / 出生・おくやみ |
| 6 まちのわだい | 13 芦北に残る文化遺産
/ 景さんの芦北チョアチョア記 | 18 熊日三太郎駅伝大会
/ 美術館だより / 湯の香ぎゃらりー |

二十歳の抱負 (一部抜粋)

一 二十歳を迎え、成人と呼ばれるようにになりました。今日を境に周りからも大人として扱われるようになり、が、まだ実感が薄いというのが正直なところです。両親はいつも私の意見を尊重してくれました。まだ照れくさく、面と向かっては言えませんが、本当に感謝しています。

成人を迎え、一般的に「大人」と呼ばれるようになって、私はまだまだたくさんの人たちに依存しながら生きています。早く自立したいとは思いますが、やはり誰にも頼らないで生きていくことは難しいことです。だからこそ、そのことを忘れず、自分を支えてくれている家族や友人や周りの方たちに早く恩返しができるように日々生活し、夢の実現のため努力していかねばならないと思います。



松崎華江さん

本日は、私たち新成人のためにこのような式典を開いていただき、ありがとうございます。私たちは新成人となるわけですが、私たちの中には社会に出て働いている人もいれば、学生として勉学に励んでいる人、結婚して子どもがいる人などさまざまなの人がいます。そんな私たちですが、これからは社会人の一人として自分の言動に責任が持てるようになっていきたいと思います。

私は技術者になるために高専に進学しました。将来プロの技術者になれるように日々努力し、高い山を目指していくと思います。

今まで育てていただいた家族に感謝するとともに、新成人として町や国、社会に貢献できるように頑張っていきたいと思えます。



才塚光さん

私は芦北町に生まれ育ち、今年、二十歳となりました。私は中学校・高校と不登校だったため、両親にたくさん迷惑や苦労を掛けてきました。私は今まで家族や友人、学生時代の先生方、地域の人たちに支えられてここまで成長することができました。これまでは目標も夢もなく、ただ毎日を過ごしてきました。ですが、二十歳になって、親の存在の大きさというものを実感し、一人で経営している父の力になればと思ひ、資格を取るといふ目標を決めました。これからは皆さまに認められるよう努力し、成長した姿を両親に見せてあげたいと思います。

愛ある心で育ててくださった先生方、そしてお父さん、お母さん本当にありがとうございました。



金香純さん



未来を担う新成人 平成 25 年 芦北町成人式

スーツや羽織袴、振り袖に身を包んだ新成人が集い1月13日、しろやまスカイドームで成人式が開催されました。今年成人を迎えたのは平成4年度に生まれた180人です。

式典前には葦北鉄砲隊が祝砲で新成人の門出を祝いました。

式典では、竹崎町長が「本日を契機として思いを新たにし、格段の精進を重ねられるよう希望します。洋々たる前途に向かって存分のご活躍を祈念します」と式辞を述べました。来賓者が「おめでとうございませす」とあいさつすると新成人は「ありがとうございます」と礼儀正しくあいさつを返していました。

「二十歳の抱負」では松崎華江さん(大野)、才塚光さん(天月)、金香純さん(女島西)が発表しました。続いて川口佳太さん(宮浦)が交通安全宣言をし、この日最初に受け付けをした宮本英治さん(新町)に新成人を代表して記念品が贈られました。最後に森下輝美さん(上町)が「私たちのこれまでの成長を支えてくれた全ての人に感謝し、感謝の心をいつまでも忘れることなく社会の一員として頑張ります」と謝辞を述べました。

少し緊張していた新成人でしたが式典終了後には友人と再会を喜び合い記念撮影をしたり、会話が弾んだり笑顔が溢れていました。いつまでもにぎやかな雰囲気会場を包んでいました。



▲竹崎町長から記念品を受け取る宮本英治さん



▲謝辞を述べる森下輝美さん

▲記念撮影する新成人





▲新鮮な太刀魚を買い求める買い物客

新鮮な魚を販売
芦北漁協「魚の朝市」初売り
厳しい寒さとなった1月27日午前6時45分から芦北漁協で「魚の朝市」が開催されました。地元で捕れる新鮮な魚を多くの人に知ってもらい、食べてもらおうと始まったもので今年で20年目を迎えました。



▲鯛のみそ汁には大勢の人だかり

魚介類の販売前には、スズキやイカ、オコゼなどの「競り」があり、1箱8匹入りの太刀魚が700円で落札されていました。会場では芦北漁港で水揚げされた新鮮な太刀魚や足赤エビ、ナマコなどが販売され、約300人の買い物客でにぎわいました。



▲歴史ある「赤松館」の座敷で札を取り合う児童

地域の伝統を調べよう
「赤松館」で百人一首を体験
国登録有形文化財藤崎家住宅「赤松館」で1月28日、田浦小3年生の児童43人が百人一首を行いました。児童は総合的な学習の時間を利用して「古い田浦の伝統を調べよう」と学校近くにある「赤松館」を訪ね、藤崎家七代目当主の藤崎正彌さん夫婦が迎え入れてくれました。藤崎さんは当家に伝わる貝合わせや明治時代の百人一首などを児童に紹介しました。その後、2人1組に分かれ、先生が歌を読み上げると「はい」と大きな



▲子どもたちの取り組みに協力しようと多くの来場者が買い物を楽しみました

たくさん売れたよ
佐敷小チャリティーバザー
今年で18回目を迎えた佐敷小学校のキャンポリアチャリティーバザーが1月25日に開催されました。総合的な学習の時間などを利用して、どんな出し物をするかをクラスごとに話し合い企画しました。教室内に輪投げやダーツなどをゲームやくじ引きコーナーを開き、児童が各家庭から持ち寄った食器類やぬいぐるみ、生活用品や文房具などの余剰品を景品にして、販売したりしていました。ゲームやくじ引きのほとんどは10円で



▲カツラをかぶりマッサージをする児童。お客さんは気持ち良さそうです

参加できました。金髪のカツラをかぶりマッサージ師に扮した児童たちは1分10円でお客さんの肩などを一生懸命マッサージしていました。各教室では元気な声で「いらっしゃいませー」「はずれなしですよー」などと威勢のいい小さな販売員が活躍。児童の保護者やおじいちゃん、おばあちゃん、地域の人、芦北幼稚園児がゲームや買い物を楽しんでいました。



▲郵便保護銃のレプリカを手に説明する澤田さん

「貴重な銃」と太鼓判
田浦で発見された郵便保護銃
テレビ「開運なんでも鑑定団」の鑑定士として活躍する澤田平さんが1月26日、地域活性化センターで「わが町で郵便保護銃発見！銃が与えた歴史をたどる」と題し、講演会を行いました。



▲和時計の研究者でもある澤田さんが制作した和時計は社会教育センターに展示する予定です

わが町で発見された郵便保護銃とは、平成22年に松本昭生さん(田浦町1)宅で見つかった銃のことです。明治時代に田浦郵便局長をしていた祖父の持ち物と見られています。スミス&ウェッソン社製で坂本龍馬が所持していた銃と同じモデルです。

韓国の伝統的衣装を試着体験



韓服を着て記念撮影する参加者。皆さん似合っています

韓国の文化を知る講座「アンニョン！韓国」が1月25日、地域活性化センターで行われました。4回目の開催となる今回は韓国の伝統的な衣装、韓服(ハンボッ)を着る体験でした。

「韓服は結婚式や正月、1歳や60歳のお祝いの時に着たりします」と講師の李允景(イ・ユンギョン) 芦北町国際交流員が説明。その後、参加者7人が試着しました。「一人でも着れて簡単。着物より楽で着崩れを気にしなくていい」と感想を話してくれました。試着後は普段のお辞儀と冠婚葬祭などで使用のお辞儀の2種類を学び、参加者は韓国の文化を体験しました。



代表して平塚辰博小田浦地区公民館長(左)が竹崎町長に20cmと手のひらサイズのくまモンひょうたんを贈呈しました

「くまモン」ひょうたんできました

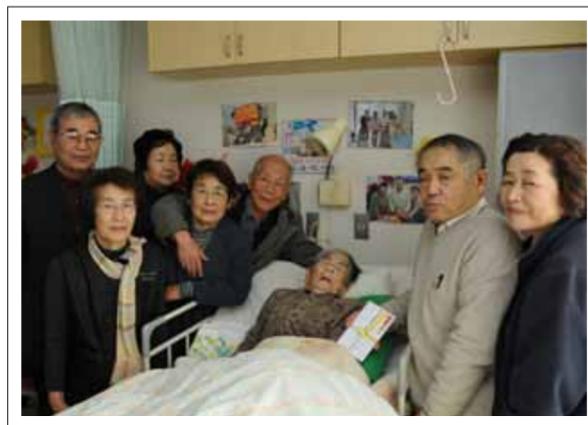
小田浦5・6・7区がまちづくり支援事業で取り組んでいるひょうたんづくりで、熊本県のゆるキャラ「くまモン」をかたどったひょうたんを制作し、1月17日、竹崎町長に贈呈しました。

ひょうたん作りに取り組んで3年目となり、今年は300個のひょうたんができました。できあがったひょうたんに「くまモン」を絵付けし、敬老会や演芸大会の時に配布したところ大変喜ばれたそうです。「ひょうたんは形が一つ一つ違い、くまモンを描いても表情が全て違ってくるのでとても楽しく制作できました。皆さんに喜ばれて作りがいがあります」と竹林公一小田浦5区長が話してくれました。

福田ハツメさん祝 100 歳

福田ハツメさん(田浦町3)が1月25日に100歳の誕生日を迎えました。入所している田の浦荘で家族が集まり100歳を祝いました。

福田さんは結婚後、夫の理髪業の手伝いをしながら5人の子供を育てました。読書や編み物など趣味は多く、中でも絵を描くのが好きで、デッサンや風景画をよく描かれていたそうです。「周りの人たちのおかげで100歳を迎えることができました。食べ物の好き嫌いがなく、孫やひ孫が多く、常に周りがにぎやかだったのが長生きの秘訣(ひけつ)かもしれません」と家族が話してくれました。



100歳を祝い集まった福田さんの子どもたちと一緒に記念撮影

初めてのデコポン収穫体験

「デコポン」の実る樹オーナー制度の収穫祭が1月20日、御立岬公園内の農園で行われました。オーナー59組のうち54組とオーナーの家族や友人約160人が参加しました。JAあしきたの職員から収穫方法の説明を受けた後、農園で収穫を体験。参加者のほとんどはみかんの収穫が初体験で、専用のはさみを使うのももちろん初めて。参加者は一つ一つ丁寧にデコポンを枝から切り取っていました。「3月初旬ごろまで寝かせると、デコポン特有の甘みがでておいしい」と説明を受けましたが、それまで待てないと収穫直後に味見をする参加者も見受けられ、おいしいと感想を話してくれました。



初めての収穫体験に笑顔を見せる親子連れ

塩と椿油をつくってみよう



塩が焦げないように注意しながらしゃもじで混ぜながら温泉水を蒸発させる子どもたち

地域の文化・歴史を学習するフィールドミュージアム事業が1月26日、27日の2日間、御立岬公園みかんの家で行われました。26日は、御立岬の温泉水を使っての塩作りを体験。濃縮された温泉水を煮沸する方法で塩を作りました。その塩を使って太刀魚を調理。竹の棒に太刀魚を巻き、塩をつけ炭火でじっくり焼けばでき上がり。参加者は満面の笑みを浮かべ太刀魚を頬張っていました。27日は国登録有形文化財の藤崎家住宅「赤松館」を見学した後、椿油作りを体験。御立岬公園内で採取した椿の種をすり鉢で砕いてすり潰し、布で搾って完成。琥珀色のきれいな椿油をお土産に持ち帰りました。



タスキを掛け一斉にスタートする選手

タスキをつないで走る

1月20日、学校やスポーツクラブ、職場などで編成した20チーム(小学13、中学2、一般3、オープン2チーム)が出場し佐敷中学校周回コースで芦北駅伝大会が行われました。小学生は6区間6.76km、中学生以上は8区間10kmで健脚を競いました。

- | | |
|--------------|---------|
| 小学校の部 | 中学生の部 |
| 1位 湯浦小野球部A | 1位 佐敷中A |
| 2位 田浦南野球クラブA | 2位 佐敷中B |
| 3位 内野小A | |
| 一般の部 | |
| 1位 あしきた青少年の家 | |
| 2位 湯浦体協南部支部 | |
| 3位 芦北消防署 | |



今回の募金額は20万8,804円。大野小は8年間の活動で合計112万円を寄附しています

サラダ玉ねぎとお米で国際貢献

大野小学校の児童代表4人が2月1日役場を訪問し、芦北町国際交流協会の竹崎会長へ募金を手渡しました。募金は、4年生以上で栽培したサラダ玉ねぎとお米を販売した売上金です。サラダ玉ねぎはファーマーズマーケット「でこぼん」などで販売。お米は国際交流まつりで販売しました。その他にも大野小の音楽部が大野夏祭りで募金箱を持ち募金活動も行いました。

昨年の12月にカンボジアスタディーツアーに参加した6年生の浪崎充洋くんは「みんなで協力して玉ねぎとお米を育てました。芦北の皆さんにたくさん買ってもらったり、大野地区の人の協力のおかげでこうして寄附ができます」と話してくれました。

高齢者に安全でおいしい食事を作ろう



町食生活改善推進員の指導のもと調理する参加者

高齢者の低栄養予防と介護食についての講座が1月28日、きずなの里で行われました。芦北町食生活改善推進員と町栄養士が講師となり、高齢者の食事の注意点などを説明。特に老化や疾病などが原因となって水や食べ物が食道ではなく、気管に入ってしまう誤嚥（ごえん）に気をつけるよう説明がありました。対策としては、むせやすい食べ物や飲み物はとろみをつけて食べやすくすること。説明後の調理実習では片栗粉でとろみをつけた大磯汁や簡単に作れて栄養豊富な魚料理などを作り実食しました。参加者は「父母や自分の今後のためになりました。栄養も考え、工夫して作ります」と感想を話してくれました。

無病息災を願って「おにはーそとー」

2月3日の節分の日を前に田浦保育所で2月1日、園児が豆まきを楽しみました。園児たちは節分の日はどうして豆まきをするのかの説明を受け、節分にまつわる紙芝居を見ました。その後、自分たちで作った張り子、新聞紙、お肉が入っていたトレイを利用して作った鬼のお面を頭にかぶり、豆を持って待機しました。すると金棒を持った赤鬼が園児たちに襲いかかってきました。あまりの怖さに泣き出す子どもが続出。やっとの思いで「おにはーそとー、ふくはーうちー」と声を出して豆をまいて、鬼を退散させました。自分の心の中に住んでいる泣き虫鬼や怒りん坊鬼、意地悪鬼は退治できたかなー。



突然の鬼の登場にびっくりして豆をこぼしながら逃げ出す子どもたち

県農業コンクールで受賞

平成24年度（第53回）熊本県農業コンクール大会表彰式が、1月30日に熊本県庁で開催されました。本町からは、今村安則さん（湯浦南）が経営体部門の優良賞、林田裕司さん（湯浦北）が新人王部門の優良賞を受賞しました。今村さんは不知火の施設栽培と露地栽培を組み合わせ、園地条件の改善や栽培管理、機械・施設の積極的な導入に取り組み、芦北地域の果樹栽培のモデルとなっています。林田さんは平成15年に就農し、柑橘類の栽培に加え、コメの乾燥・もみすり作業を受託するとともに、一人でも多くの意欲ある若者を就農へ導くため、芦北高校農業科の臨時講師を長年務めました。



賞状を手にする今村さん（左）と林田さん

自衛官募集に協力願う

自衛官募集相談員の委嘱式が2月1日、役場で行われました。相談員は、任期の2年間、自衛官志願者への情報提供や募集広報などに対する支援活動を行います。齋藤剛自衛隊熊本地方協力本部長と竹崎町長の連名で委嘱しています。長口政さん（丸山）、内田耕一さん（湯浦南）、溝下博行さん（田浦4）、宮本益男さん（花岡西）、一川清一さん（市野瀬）の5人に委嘱状が交付されました。その後、任期を終えた齋藤力さん（大野）に感謝状が贈呈されました。齋藤本部長は「県内の応募者数が厳しい状況にあります。隊員志願者の情報収集など、より一層のご協力をお願いします」とあいさつし、協力を要請しました。



前列左から宮本さん、長口さん、齋藤さん、前列右から一川さん、溝下さん、内田さん

安全・安心なまちを目指して

芦北町・芦北警察署「安全・安心」連絡会議が1月30日、芦北警察署で開催されました。この会議は芦北町における安全で安心なまちづくりをより効果的に推進するため、平成20年12月に設立されました。住民が安全で安心して暮らせるまちづくりの実現のためには芦北町と芦北警察署が連携した取り組みが不可欠です。芦北町と芦北警察署が共通の認識を持って諸対策に取り組んで行こうと定期的に関われています。春野慎治芦北警察署長と竹崎町長も会議に出席し、芦北町の犯罪件数や交通事故件数と犯罪防止や事故防止に対する取り組み報告を受け、意見交換を行いました。



安全で安心なまちづくりを目指し、町と警察が情報・意見交換を行っています

各種障害者手当

在宅生活で、介護を必要とする重度の障害がある人、またはその家族などに対して支給する3つの手当があります。該当する人は、福祉課障害者福祉係に申請してください。

特別障害者手当

●**受給資格**
20歳以上で身体または知的・精神に著しく重度の障害があり、日常生活に常時特別の介護を必要とする人

●**手当の額**
月額2万6,260円

●**手当の受給(申請)ができない人**

- (1)病院・診療所に継続して3カ月を超えて入院している人
- (2)施設などに入所している人

障害児福祉手当

●**受給資格**

20歳未満で身体または知的・精神に重度の障害があり、日常生活において常時の介護を必要とする児童

●**手当の額**

月額1万4,280円

●**手当の受給(申請)ができない人**

- (1)施設などに入所している人
- (2)当該障害を支給理由とする年金などを受給している人

特別児童扶養手当

●**受給資格**

20歳未満で身体または知的・精神に障害があり、法令に定められた障害等級に該当する障害児を監護している父母または養育者

●**手当の額**

- 1級 月額5万4000円
- 2級 月額3万3,570円

●**手当の受給(申請)ができない場合**

- (1)障害児が父母などに監護されていない場合(施設入所など)
- (2)障害児が当該障害を支給理由とする年金などを受給している場合

【注意】

いずれの手当にも所得による支給制限があります。障害程度の認定は、原則として診断書により審査することになります。

*申請・問い合わせ先

福祉課 障害者福祉係

☎(82)2511(内線153)

マリンドアさんカンボジアに帰国

昨年の9月3日から1月22日まで芦北町で研修を受けていたホーム・マリンドアさんが無事に学校教育と音楽の研修を終え、1月25日に帰国しました。

私にとつて初めての海外が日本でした。山に囲まれ海に面し、自然に恵まれた素晴らしい環境の芦北町で研修できた事を幸せに思います。芦北の皆さんがいつもカンボジアに学校を建設する支援をしていただいていることに大変感謝しています。本当にありがとうございました。



私は佐敷小学校を中心に研修をしました。私は3年1組の子どもたちと一緒に授業を受け、国語、算数、音楽、理科、体育などの授業の進め方を先生や子どもたちから教わりました。日本の教育はレベルが高く、学習教材が豊富で、先生たちも素晴らしい指導で授業を行っていました。芦北町の5カ月はとても短いものですが、実り多い研修でした。

学校以外でも町民体育祭陸上競技大会に出場したり、うたせ船に乗って魚釣りをしたり、芦北町国際交流まつりに参加したり、カンボジアにはない雪を見たりと多くの素晴らしい経験をさせてもらいました。私が芦北町で研修していた間、役場の人や学校関係者、子どもたち、そして皆さんの町民の皆さんにとっても親切にしてくださいました。皆さんお一人一人に心から感謝しています。

皆さんの気持ちに伝えるためにも、私はカンボジアにこの貴重な経験を持ち帰り、祖国の発展のためにカンボジアの教師や生徒たちに伝えていきます。5カ月間お世話になりました。

3月7日から

津波警報が変わります

気象庁では、平成23年東北地方太平洋沖地震により大きな津波被害が起きたことで、津波警報などの改善を進めてきました。平成25年3月7日(木)正午から新しい形式の津波警報などの運用を開始します。



「巨大」という言葉を聞いたら、東日本大震災の津波が来たかと思ってしまうかもしれません。避難しましょう。

津波警報・注意報などの主な変更内容

- ◆マグニチュード8を超える巨大地震の場合は、その海域での最大級の津波を想定して、大津波警報や津波警報を発表します。このとき、予想される津波の高さを「巨大」、「高い」という言葉で発表して非常事態であることを伝えます。
- ◆これまで8段階で発表していた予想される津波の高さについては、5段階に集約します。
- ◆津波警報などの発表時には各区分の高い方の値を、予想される津波の高さとして発表します。

津波警報・注意報の分類

	予想される津波の高さ		
	高さの区分	数値での発表	巨大地震の場合の表現
大津波警報	10m～	10m超	巨大
	5m～10m	10m	
	3m～5m	5m	
津波警報	1m～3m	3m	高い
津波注意報	20cm～1m	1m	(表記しない)

津波から命を守るためには

すぐに避難！

◆強い揺れ、弱くてもゆっくりとした長い揺れを感じたらすぐに避難してください。

◆揺れがなくても、津波警報を見聞きしたらすぐに避難してください。

※詳しい変更内容については、気象庁ホームページをご覧ください。

*問い合わせ先

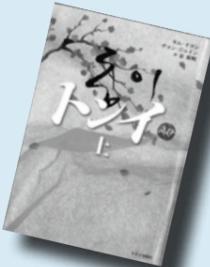
熊本地方気象台防災業務課

☎096(324)3283

おすすめ 図書紹介 BOOK

「トンイ (上・下)」

キム・イヨン / チョン・ジェイン 著 (キネマ旬報社)



芦北町立図書館 田浦図書室

韓国王朝名君・英祖(ヨンジョ)を生み育てた実在のヒロイン・トンイのドラマチックな生涯の物語です。

「めぐみと私の35年」

横田早紀江 著 (新潮社)



芦北町立図書館 田浦図書室

当時13歳だった横田めぐみさんが拉致されて35年。絶望、怒り、祈り……。最愛の娘を捜し、待ち続ける母の記録です。

「ちゅうしゃなんかこわくない」

穂高順也 作 / 長谷川義史 絵 (岩崎書店)



芦北町立図書館 田浦図書室

今日は予防接種の日だけど僕は注射が大嫌い。「今すぐ逃げ出したい」という僕の気持ちは体から抜け出して……。注射嫌いが治る(?)絵本です。

保健センターだより

「寒さ」と血圧変動

「突然死を防ぐ」 入浴のポイント

寒い時期には心臓発作や脳卒中が原因と推定される救急搬送が多くあります。心臓病（心筋梗塞や狭心症など）は「突然死」の大きな原因です。「心臓突然死」が突然死の6割を占めます。悪性の不整脈や高血圧による心肥大など、心臓に血液が送られにくくなるような状態も突然死の原因になります。

突然死は就寝中や入浴中に多く起こっているとの報告もあります。入浴中の血圧の変動が、心臓病発作や脳出血などを引き起こし「突然死」に至るケースも少なくありません。

入浴時は温度変化に加え、湯船内の水圧の影響、発汗による脱水から、血圧の変化が起こりやすい状況にあります。



【入浴に伴う血圧の変化】

1	寒い脱衣所で衣服を脱ぎ、暖まっていない浴室に入る（毛細血管の収縮が起きる）	血圧上昇（↑）
2	浴槽に入り、熱い湯（42℃以上のお湯）に触れると交感神経が緊張する	血圧が急激に上昇（↑↑）
3	浴槽内で肩までお湯につかると、水圧により心臓に負担がかかる	血圧がさらに上昇（↑）
4	温かいお湯に浸かっていると、温熱効果で体が温まり血管が拡張する	血圧は急激に下降（↓↓）
5	浴槽から上がると水圧がかからなくなる	血圧下降（↓）
6	浴槽から上がり、体温が下がる（寒い脱衣所にて毛細血管の収縮が起きる）	血圧が急激に上昇（↑↑）

「入浴」は右の表のような血管への刺激が連続して起こるので、血圧が大きく変動することになります。急激な血圧変動が心臓病発作や脳卒中を起こしやすくなります。血管年齢が低下し動脈硬化が起こっている高齢者や高血圧症の人は、そうでない人に比べ、入浴中の血圧変動のリスクが高く特に注意が必要です。

【寒い時期の入浴のポイント】

- ◆ 脱衣所を事前に暖め、入浴後の寒冷刺激を避ける
- ◆ 入浴前後の水分補給（脱水症状は、血液が凝縮され濃くなり血管が詰まりやすくなります。30分以上の「長風呂」は避けましょう。15〜20分程度が目安です）
- ◆ お湯の温度は高くしすぎない（38〜41℃で調整しましょう）
- ◆ 浴槽に入る前に、心臓に遠い部分からかけ湯をし、浴槽にゆっくりと体を沈める
- ◆ 高齢者の一番風呂は避ける（浴室が暖まっておらず、湯温も高いため）

突然死を防ぐためには、急激な血圧の変動を抑えることが重要です。入浴時に限らず、塩分過多の食事や多量飲酒、喫煙、ストレスなど血圧が上昇する原因はさまざまです。生活習慣を見直し、急激な寒さへの対策を万全に行いながら突然死に至らないよう気を付けましょう。

*問い合わせ先
保健センター
☎（86）0200

芦北に残る文化遺産

⑳ 来迎寺六地藏塔

芦北町指定有形文化財
平成11年8月31日指定

先月の広報あしきたにも掲載しましたが、町民歴史講座で町内の神社とお寺の見学会を行い、併せて各社寺が管理している文化財も見学しました。

今回は、その中の一つである来迎寺六地藏塔を説明します。来迎寺は、佐敷地区の上町にある、町内では数少ない浄土宗のお寺（あとは田浦の空寂院だけ）です。今から400年以上前に来迎寺の前身となる古いお寺があったようですが、それが衰退していたため佐敷城代の加藤重次の母が、久留米の善導寺から僧を招いて再興したと伝わっています。再興時は佐敷川のそばにあったそうです



▶来迎寺にある六地藏塔。
高さは2.05mあります

が、後に洪水のため現在地に移りました。また、芦北三十三観音の最終札所としても知られています。

来迎寺の六地藏塔は、寛永12（1635）年2月に建立されていますので、今月で378年になります。熊本藩主が加藤氏から細川氏に代わったのが寛永9（1632）年、天草・島原の乱が寛永15（1638）年の出来事ですので、その間に建てられたと考えるとイメージしやすいかもしれません。町内の石造物としては、古い部類に入ります。

六地藏塔は、石幢（せきどう）という供養塔の一種で、インドや中国で造られていたものが、鎌倉時代以降に日本でも造られ始めました。胴体部分にあたる柱状の部分と龕（がん）部と呼ばれる笠の下部分が原則6面になっていて、そこにお地藏さんが彫刻してあるので、六地藏と呼ばれるようになりました。

神社やお寺には多くの石造物があります。そこには建立年代や寄附者名、趣向を凝らした模様などが彫られており、地域の歴史を知る手掛かりになります。神社仏閣巡りをされる人は、ぜひ注目してみてください。

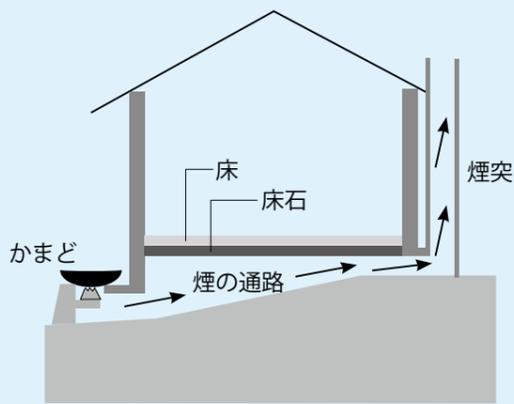
*問い合わせ先
生涯学習課 文化振興係
☎（87）1171（内線145）

景さんの 芦北チョアチョア記

（第9回）

芦北町国際交流員
李允景（イ・ユンギョン）

寒い日々が続いていますね。韓国も冬はすぐ寒くなり、お正月に韓国に帰った時は痛いぐらいの冷たい風で驚きましたが、家の中はぽかぽかしていてオンドル（床暖房）のありがたさを改めて感じました。今月は韓国の冬に欠かせない「オンドル」を紹介します。オンドルは韓国の伝統的家でで見られる独特な暖房構造で、かま



▲オンドルの構造

どの火から発生する熱の対流現象を利用して床を暖める床暖房のことです。空気を直接暖める方式ではなく、床を暖めることにより部屋の中を暖かくする仕組みとなっています。

以前、各家には「かまど」がありました。今は西洋から入ってきた近代的な建築様式の建物が多くなり、一般家庭でかまどは珍しくなりました。現在の住宅ではかまどの機能に代わり、温水パイプを床に敷いたり熱線を設置したりして床全体を暖めます。温水パイプの水を加熱する燃料として石油・ガスなどの化石燃料が使われますが、最近は暖房費用の節約や地球環境に配慮して、深夜の夜間電力を利用したボイラーが普及しています。オンドル方式の暖房は、一戸建ての家からマンションまでほとんどの家庭に普及しています。さらに電気ストーブやホットカーペットも使い、寒い冬を暖かく過ごしています。

このように日本と韓国では暖房の方法が違うので、気温は韓国の方がもっと寒いのですが、韓国人が寒がりの私にとってはオンドルがない日本の冬が寒く感じています。

4月1日から障害福祉サービス対象者の範囲が拡大されます

4月1日から「障害者自立支援法」が「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」に変わります。

今回の改正で、障害福祉サービス（在宅、施設サービス）の対象者に「難病等（治療方法が確立していない疾病、その他の特殊の疾病であって政令で定めるもの）による障害の程度が厚生労働大臣が定める程度である者」が新たに追加されました。難病患者などで、症状の変動により、身体障害者手帳の取得ができないが一定の障害がある人も障害福祉サービスが利用できるようになります。

障害福祉サービスの利用手続など詳しい内容については、福祉課へお尋ねください。

*問い合わせ先
福祉課 障害者福祉係
☎（82）2511（内線153）

公衆浴場無料入浴券の交付をまだ受けていない人へ

平成24年度の公衆浴場無料入浴券の交付を希望する人で、まだ、申請手続きを行っていない人は、申請手続きを行ってください。

対象者

○芦北町に住民票があり、居住している人で、70歳以上の人(70歳未満の人は身体障害者手帳を持っている人)

○身体障害者手帳の1種1級から3級、療育手帳A1、A2の人を介護する人

申請方法

○印鑑を持参し本人が申請してください。

○身体障害者手帳を持っている人で、本人が申請できない場合は、家族が代理申請することが出来ます。印鑑と手帳をご持参ください。

▼交付枚数 1人年間70枚

(1枚当たり170円分)

※入浴料が170円を超える場合は、差額は個人負担となります。

▼申請・交付場所 役場福祉課、田浦基幹支所、吉尾・大野・湯浦の各出張所

▼利用期間 3月31日(日)まで

*問い合わせ先 福祉課 高齢者福祉係 ☎(82) 2511(内線152)

熊本さわやか大学校 入学生募集

高齢者の健康と生きがいづくり、社会参加の促進などを目的に次のとおり入学生を募集します。

▼入学資格 平成25年4月1日時点で60歳以上であり、学習意欲のある県内在住の人(すでに履修された人は受講できません)

▼募集定員 熊本校 100人 八代校 80人

▼募集締切 3月5日(火)必着

▼講座内容 「いつまでも健康、元気がいちばん」、「健康は食生活から」、「知識を磨いて更なる飛躍を」、「新しい世界にふれてみよう」、「みんなでおしやれに」など年間40回からおしやれに」

▼開催日・時間

○熊本校 毎週木曜日

午後1時30分〜午後3時30分

○八代校 毎週火曜日

午後1時30分〜午後3時30分

▼受講期間 平成25年4月〜平成26年3月

▼会場

○熊本校 熊本県総合福祉センター

スポーツ安全保険加入者募集

平成25年度のスポーツ安全保険の加入受付が3月から開始します。

▼加入条件 5人以上の団体

▼対象 団体での活動中や団体活動への往復中の事故

▼内容 傷害保険・賠償責任保険・突然死葬祭用保険

▼掛金 中学生以下は800円から、高校生以上は活動内容によって金額が異なりますのでお問い合わせください。

*問い合わせ先

スポーツ安全協会熊本県支部 ☎096(213)9015

食品衛生責任者養成講習会

▼日時 3月7日(木)

午前9時〜午後4時

▼場所 水俣市公民館 第2研修室

▼受講料

食品衛生協会員 4千円

非会員 5千円

※ただし学生は会員と同額

▼申込方法 電話またはFAX

▼申込締切 2月26日(火)

*問い合わせ先

水俣市北地区食品衛生協会 (水俣保健所内)

☎/FAX(63)3891

○八代校 やつしろハーモニーホール

▼受講料など 入学金・5千円

受講料・1万2千円

(入学時に一括納付)

▼申込方法 役場福祉課または教育委員会に置いてあるパンフレットでお申し込みください。

*問い合わせ先

財団法人 熊本さわやか長寿財団 ☎096(354)3083

県シルバースポーツ交流大会参加者募集

▼競技種目 ラージボール卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、健康マラソン、弓道、剣道、グラウンド・ゴルフ、なぎなた、太極拳、ソフトバレーボール、サッカー、ダンススポーツ

▼競技会場 熊本県民総合運動公園 他4会場

▼日程 5月10日(金)〜26日(日)

▼参加資格 県内在住で昭和29年4月1日以前に生まれた人

※健康マラソン女子は50歳代の人も参加できます。

▼参加費 個人競技は1人700円。団体競技は種目により参加費が異なります。

▼申し込み 個人競技(個人)または身元証明書(個人)または納税証明書(国・県・市町村)写し可

*問い合わせ先 水俣市北広域行政事務組合総務課 ☎(63)1128

ひな人形を飾ります

佐敷宿交流館「榎屋」では、3月の節句に合わせて、ひな人形を展示しています。

お茶も用意してありますのでぜひお立ち寄りください。

▼期間 3月20日(水・祝日)まで

午前11時〜午後3時

*火曜日は休館

*問い合わせ先

芦北町薩摩街道佐敷宿交流館 「榎屋」 ☎(61)3770

県環境センター3月イベント

【自然を楽しむ】

見る・聞く・触るなどの感覚を使って自然を直接体験する「ネイチャーゲーム」のさまざまな活動を通して、環境センター周辺の芝生広場や林の中で自然に親しみ、豊かな感受性を育むイベントです。

▼日時 3月9日(土)午前10時〜正午

▼場所 熊本県環境センター

▼募集 20人

▼参加費 無料

▼申込期限 3月8日(金)

▼申込方法 ①住所②氏名③電話番号

水俣市北広域行政事務組合 入札参加資格審査申請

4月以降に水俣市北広域行政事務組合が発注する建設工事、測量、建設コンサルタント、物品購入などの競争入札に参加を希望する人は申請してください。

▼受付期間 3月1日(金)〜4月30日(火)

▼申込方法 郵送もしくは持参 ※持参の場合は、午前8時30分〜午後5時まで受け付けます。土日祝日は受け付けません。

▼提出書類・提出方法

・国土交通省統一様式

・商業登記簿謄本(法人)または身元証明書(個人)

・納税証明書(国・県・市町村)写し可

*問い合わせ先

水俣市北広域行政事務組合総務課 ☎(63)1128

【春のこども祭り】

リ・ガラスアートや化石レプリカづくり、万華鏡づくり、竹箸(はし)づくりなど、大人気の体験活動が大集合。さまざまな体験活動を通じて、環境について楽しく学んでもらうイベントです。図書カードや環境に優しいエコグッズなどが当たる「お楽しみスタンプラリー抽選会」もあります。

▼期間 3月20日(水・祝日)

午前10時〜午後3時30分

▼場所 県環境センター

▼その他 参加費無料、事前申込不要

【わたしのまの〇と×・熊本環境フォトコンテスト展】

熊本県内の「いつまでも残したい」風景「〇」と、「みんなで考えたい」風景「×」を撮影した2枚1組の写真を展示し、その対比を通して「自分にできる何か」を見つける機会です。

▼日時 3月12日(火)〜4月12日(金)

▼場所 熊本県環境センター

*申込・問い合わせ先

水俣市明神町55-1

熊本県環境センター

☎(62)2000

FAX(62)1212

田浦子育て支援センター 3月の行事

- 1日(金) ひな祭り集会
7日(木) お別れ遠足(電車に乗って公園へ行こう)
15日(金) 身体測定・誕生会
21日(木) お別れパーティー

※支援センターは未就園児と保護者なら誰でも利用できます。一時保育も行っています。

◆センター利用時間 毎週月曜日〜金曜日 午前9時30分〜正午 午後2時45分〜5時15分

*問い合わせ先 田浦子育て支援センター ☎(87)0034



絵本や遊具もあり、楽しく過ごせます

事件・事故は110番

芦北警察署

☎(82)3110

熊本市内で子どもが被害に遭っています！

子ども・女性に対する
わいせつ事案

警察からのお願い



①下校中、被疑者につきまといわれた上で、「質問していいですか」と声を掛けられ、下半身を露出してきた。
②男2人が乗車した軽自動車から約3時間にわたってつきまといわれた。
③夜間に自転車で帰宅中、被疑者から「鍵をなくしてしまっただけですけれど、一緒に探してくれませんか」などと声を掛けられ、人気がない場所に連れて行かれ、わいせつな行為を強要された。



①子どもに「いかのおすし」の指導をお願いします。
「いか」…行かない
「の」…乗らない
「お」…大声を出す
「す」…すぐ逃げる
「し」…知らせる
②人通りの少ない公園、公衆トイレなどの子どもが被害に遭いそうな危険箇所の把握・点検をお願いします。
③子どもに自らの身を守る方法や「子ども110番の家」などの緊急避難所の利用方法などについて指導をお願いします。



火事と救急は119番

芦北消防署

☎(82)4731

消防車両の緊急走行にご理解とご協力をお願いします

ご理解とご協力をお願いします

日頃から、消防車両の緊急走行に対してご協力いただき、ありがとうございます。全国では緊急走行中における一般車両との接触事故などが発生しています。このことから、次の点に注意して、より一層のご理解とご協力をお願いします。

消防車両の緊急走行時は、道路交通法で優先先行権が認められているため、道路の中央を走行したり、赤信号の交差点に徐行して進入する場合があります。



●一般車両の対応

緊急車両が走行するときの一般車両の対応として、道交法第40条で「緊急自動車に接近してきた時は、車両は、道路の左側に寄ってこれに進路を譲らなければならぬ」と明記されています。消防車両が接近してきた場合は、道路の端に車両を寄せ道を開きましょう。

●その他の注意点

緊急車両のサイレンがよく聞えるように、オーディオのボリュームなどは小さめをお願いします。また、急ブレーキや急ハンドルは危険ですので注意してください。

編集後記

大野小児童が今年も芦北町国際交流協会に募金を贈りました。山川高久校長によると大野小は「カンボジアに学校を贈る運動」を通じて、人を大切にする、人を支援できるような人材を育てるということを目的に取り組んでいるそうです▼その成果として大野小児童の発案で東日本大震災の子どもたちのためにサラダ玉ねぎを栽培し、段ボール30箱を岩手県の大船渡市の小学校に送ったそうです▼田浦中が三太郎駅伝大会で中学の部において24年ぶりに優勝しました。本田栄一校長は「日頃の学校における生活態度がこの結果を生んだ。この経験はいろんなところで生かされる」と大会終了後、選手に話していました▼2位でタスキを受けたアンカーの岡田尚大君は胸のタスキを右手で握り締めながらフィニッシュ。欠場した3年生が書いたメッセージのお守りがタスキに縫い付けられていたそうです。ゴールテープを切ると欠場した生徒と抱き合い喜んでいました▼人のために行動する。なんとも頼もしい子どもたちです。大人が子どもたちに見習うべきこともたくさんありますね。(寺川)

お誕生おめでとう

H25.1.1 ~ 1.31 受付分 (敬称略) 受付件数 9 件

氏名	出生日	性別	保護者	区
岩間 美来	12.25	女	賢二	湯浦南
川添 優莉	12.26	女	拓也	平生
坂井 隼	12.27	男	聡	湯浦北
黒田 綜史	1.6	男	了智	海浦1
山川 育実	1.9	女	茂夫	國見
田中 皆地	1.12	男	元域	湯浦南
上村 梨緒	1.13	女	慶太	田浦町1
上川 音羽	1.18	女	貴志	井牟田1
中山 新大	1.24	男	光矢	湯浦北

※町外に提出した人で、掲載を希望する場合は、役場総務課秘書広報係までご連絡ください。

ご冥福をお祈りします

H25.1.1 ~ 1.31 受付分 (敬称略) 受付件数 41 件

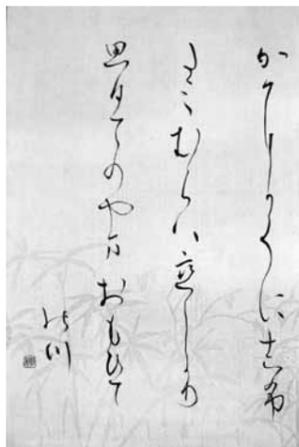
氏名	死亡日	年齢	区
白本 勇公	12.27	75	宮崎
内尾 晋	1.1	89	大尼田
松岡 敬一	1.1	58	海浦2
田代 貢	1.2	67	宮崎
塩嶋 義行	1.3	81	諏訪
早川 輝子	1.3	86	花岡東
清田 ハルミ	1.4	85	横居木
田川 シズノ	1.8	100	田浦1
松本 景敏	1.8	86	松生
宇治原 マヨ	1.9	88	田浦2
宮嶋 フクエ	1.9	82	花岡西
川添 勝美	1.12	72	小田浦5
毛利 キワ	1.12	93	高岡北
兼丸 繁	1.14	85	内木場
平生 二	1.15	72	湯浦南
井上 光	1.16	85	花岡西
田北 安喜	1.17	84	丸山
吉田 滋生	1.19	81	本町
山下 光則	1.20	64	大野
岩間 一男	1.21	77	古石北
宮崎 フクエ	1.21	93	田浦1
森下 重行	1.22	85	田川
太田 安信	1.23	86	海浦1
洲上 アキエ	1.23	74	田浦町2
宮嶋 猛明	1.24	85	高岡南
宮石 秀美	1.25	41	鶴木山
田中 フジコ	1.27	80	田浦町2
農上 キミ子	1.27	91	小田浦2
藤井 キミ	1.28	84	平生
田口 ツヨ	1.29	93	白岩
岩生 次信	1.29	94	黒岩
福山 トシエ	1.30	85	大川内南
法花津 ムツキ	1.30	94	立川

人口の動き (H25.2.1 現在) ()内は前月比

人口	19,508人	(-12)
男	9,108人	(-6)
女	10,400人	(-6)
65歳以上	7,110人	(-4)
世帯数	7,552世帯	(-3)

書道 (かな)

【町民講座】



かにかくに渋民村は恋しかり
思い出の山思いで川の川(石川啄木の句)

山川 しげ子

短歌

【紫おんの家短歌会】

明け方の庭に椅子出し着脹れて双子座の星流れるを待つ
橋本さゆみ
始発電車に孫送るとき残月の皓々としてわが裡てらす
山元 初代
車窓より見る山際を黄の色に彩りて咲くつわぶぎの花
道園 政枝
遠く住む子等集まりて黒川のいでゆに祝う夫の還暦
田上 良子
大分から初めて車で帰るくる息子案じて日の暮れはやし
宮崎 和子

【田浦短歌会】

彗星に願いごとする隙もなく一瞬にして夢破れたり
本郷たもる
山茶花の一輪咲きたる裏庭に目敏き鴨の声近くする
石山 澄子
初めての入浴介護に夫送りそわそわとして落着かぬわれ
山下 忠子
感傷に浸る余裕もなきわれの見上ぐる空にハートなす雲
溝口 陵子
万両のつばら実赤き庭先をさかしき鴨にしぼし宿かす
満田 栄子

第63回熊日三太郎駅伝競走大会

田浦中24年ぶり優勝



新春の三太郎峠を駆け抜ける第63回熊日三太郎駅伝競走大会が1月13日に行われました。本大会は熊本県内で最も歴史ある駅伝大会です。水俣・葦北郡から一般7チーム、高校3チーム、中学8チームの合計18チームが参加。小雨が降りいいコンディションではない中、選手はタスキを胸に懸命に走りました。選手を応援しようと沿道からたくさんの方が声援を送っていました。

一般の部は葦北町選手の力及ばず、1区からトップを守った水俣市が優勝しました。中学の部では、最終ランナーで逆転した田浦中学校が24年ぶりの優勝を飾りました。田浦中の中村直人監督は「故障で走れなかった生徒の分まで心を一つに最後まで諦めずよく走ってくれました」と笑顔で選手たちの頑張りをたたえました。

【一般】

- ◇総合(A、Bチームの合計)
- 1位 水俣市 4時間 41分 46秒
- 2位 葦北町 5時間 02分 23秒
- 3位 津奈木町 5時間 07分 59秒

◇チーム別

- 1位 水俣 A 2時間 16分 28秒
- 2位 葦北 A 2時間 22分 47秒
- 7位 葦北 B 2時間 39分 36秒

【高校】

- 1位 水俣高校 2時間 19分 18秒
- 2位 葦北高校 2時間 30分 53秒
- 3位 水俣工高校 2時間 31分 13秒

【中学】

- 1位 田浦中 2時間 24分 46秒
- 3位 湯浦中 2時間 25分 13秒
- 6位 佐敷中 2時間 38分 55秒

葦北町立星野富弘美術館だより

昨年12月から1月末まで、詩画公募展作品を募集しました。今年は1, 224点の応募がありました。その中から24点の入賞作品が選ばれ、星野作品と共に展示されています。



▲「はなしょうぶ」1978年

◇「平成24年度詩画公募展」

○期間 5月12日(日)まで

○休館日 第2・4月曜日(祝日除く)

○開館時間 午前9時〜午後5時

*問い合わせ先

星野富弘美術館

☎(86) 16000

薩摩街道ふるさと湯の香ぎゃらりー

町民の皆さんが制作した作品が湯浦地区に展示してあります。その一部を紹介いたします。

